



佐々木 勝彦 教授

佐々木 勝彦 教授 略歴・主要業績

生年月日 昭和 19 年 10 月 17 日

学 歴

昭和 38 (1963) 年 3 月 31 日 東北学院高等学校卒業
 昭和 42 (1967) 年 3 月 31 日 東北学院大学文経学部経済学科卒業
 昭和 44 (1969) 年 3 月 31 日 東北学院大学文学部基督教学科卒業
 昭和 46 (1971) 年 3 月 31 日 東京神学大学大学院博士課程前期課程修了
 昭和 49 (1974) 年 3 月 31 日 東京神学大学大学院博士課程後期課程修了

職 歴

東北学院大学
 昭和 49 (1974) 年 4 月 1 日 東北学院大学助手採用
 昭和 50 (1975) 年 4 月 1 日 大学講師昇任
 昭和 53 (1978) 年 4 月 1 日 大学助教授昇任
 大学多賀城寄宿舎舎監 (平成 7.3.31 迄)
 昭和 57 (1982) 年 4 月 1 日 大学宗教部副部長就任 (平成 8.3.1 迄)
 昭和 59 (1984) 年 4 月 1 日 大学キリスト教研究所所員 (平成 19.3.1 迄)
 昭和 61 (1986) 年 4 月 1 日 大学教授昇任
 平成 11 (1999) 年 4 月 1 日 大学文学部基督教学科長就任 (平成 13.3.31 迄)
 平成 17 (2005) 年 4 月 1 日 大学文学部キリスト教学科長就任 (平成 19.3.31 迄)
 平成 19 (2007) 年 4 月 1 日 大学宗教主任就任 (平成 24.3.31 迄)
 平成 20 (2008) 年 4 月 1 日 大学キリスト教文化研究所長就任 (平成 24.3.31 迄)
 平成 23 (2011) 年 4 月 1 日 東北学院幼稚園長就任 (平成 25.3.31 迄)
 学校法人東北学院評議員就任 (25.3.31 迄)
 平成 24 (2012) 年 4 月 1 日 大学嘱託教授 (平成 28.3.31 迄)

賞 罰

平成 11 (1999) 年 5 月 15 日 創立 113 周年永年勤続表彰 (25 年)

そ の 他

昭和 46 (1971) 年 4 月 1 日 頌栄女子学院中学校・高等学校講師 (1974.3.31. 迄)
 平成 8 (1996) 年 4 月 1 日 東北大学文学部講師 (2004.3.31 迄)

著 書

- 『生きる — カルトとオカルトを超えて —』 青踏社, 2001 年 4 月 15 日
 『読む — 聖書と人生 —』 青踏社, 2001 年 10 月 17 日
 『旅する — バベルの塔とアブラハム —』 青踏社, 2004 年 3 月 25 日
 『わたしはある — モーセと現代 —』 青踏社, 2005 年 4 月 10 日
 『どうして私が — エレミヤへの旅路 — (上)』 青踏社, 2006 年 10 月 17 日
 『どうして私が — エレミヤへの旅路 — (下)』 青踏社, 2008 年 9 月 23 日
 『まだひと言も語らぬ先に — 詩篇の世界 —』 教文館, 2009 年 1 月 25 日
 『愛は死のように強く — 雅歌の宇宙 —』 教文館, 2010 年 9 月 10 日
 『理由もなく — ヨブ記を問う —』 教文館, 2011 年 6 月 25 日
 『愛の類比 — キング牧師, ガンティエー, マザー・テレサ, 神谷美恵子の信仰と生涯 —』 教文館, 2012 年 9 月 15 日
 『わたしはどこへ行くのか — 自己超越の行方 —』 教文館, 2013 年 7 月 30 日
 『共感する神 — 非暴力と平和を求めて —』 教文館, 2014 年 4 月 15 日
 『日本人の宗教意識とキリスト教』 教文館, 2014 年 8 月 30 日

翻 訳 書

- H.J. クラウス『力ある説教とは何か』 日本基督教団出版局, 1982 年 4 月 10 日
 E. トレルチ『キリスト教倫理』 ヨルダン社, 1983 年 6 月 30 日
 J. モルトマン他『山上の説教を生きる』 (共訳) 新教出版社, 1985 年 5 月 10 日
 G. シュトレッカー『「山上の説教」註解』 (共訳) ヨルダン社, 1988 年 1 月 25 日
 レオン・モリス『愛 — 聖書における愛の研究 —』 (共訳) 教文館, 1989 年 4 月 10 日
 W. パネンベルク『信仰と現実』 日本基督教団出版局, 1990 年 4 月 20 日
 H. ゴルヴィツァー『愛の賛歌 — 雅歌の世界 —』 日本基督教団出版局, 1990 年 9 月 17 日
 W. パネンベルク『組織神学入門』 日本基督教団出版局, 1996 年 2 月 20 日
 G. アウトカ『アガペー — 愛についての倫理学的研究 —』 (共訳) 教文館, 1999 年 4 月 15 日
 K. バルト『カール・バルト説教選集 13』 (共訳) 日本基督教団出版局, 2000 年 7 月 25 日
 W. パネンベルク『なぜ人間に倫理が必要か — 倫理学的の根拠をめぐる哲学的・神学的考察 —』 (共訳) 教文館, 2003 年 1 月 15 日
 K. バルト『カール・バルト説教選集 15』 (共訳) 日本キリスト教団出版局, 2004 年 5 月 25 日
 W. パネンベルク『人間学 — 神学的考察 —』 教文館, 2008 年 11 月 20 日
 C. リンドバーク『愛の思想史』 (共訳) 教文館, 2011 年 5 月 25 日
 R.A. クライン他編『キリスト教神学の主要著作 — オリゲネスからモルトマンまで —』 (共訳) 教文館, 2013 年 12 月 25 日

論 文

- 「W. Pannenberg におけるキリスト教倫理の構造 — 「法の神学」との関連で —」『教会と神学』 第 6 号, 東北学院大学文経法学会 (東北学院大学学術研究会), 1975 年 3 月

- 「H. Herrmann におけるキリスト教倫理の構造」『教会と神学』第 8 号, 1976 年 12 月
- 「近代神学における「宗教と人間性」の問題 — W. Herrmann と P. Natorp の場合 —」『教会と神学』第 9 号, 1977 年 12 月
- 「キリスト教倫理学における「主体性と客観性」の相剋 — W. Herrmann と E. Troeltsch —」『教会と神学』第 10 号, 1978 年 12 月
- 「宗教史の神学 — W. パネンベルクの神学概念 —」『教会と神学』第 12 号, 1981 年 3 月
- 「復活の神学 — W. パネンベルクのキリスト論 —」『教会と神学』第 14 号, 1983 年 3 月
- 「Kompromiss の倫理 — E. トレルチにおけるキリスト教の政治」『キリスト教研究所紀要』創刊号, 東北学院大学キリスト教研究所 (東北学院大学キリスト教文化研究所) 1983 年 3 月
- 「象徴の神学 (I) — W. パネンベルクの教会論 —」『教会と神学』第 15 号, 1984 年 3 月
- 「信徒の神学」『教会と神学』第 16 号, 1985 年 3 月
- 「神学における実践の問題 — Helmut Gollwitzer の神学概念 —」『教会と神学』第 17 号, 1986 年 3 月
- 「K. バルトにおける「愛」(I)」『キリスト教研究所紀要』第 4 号, 1986 年 3 月
- 「象徴の神学 (II) — W. パネンベルクの教会論 —」『教会と神学』第 18 号, 1986 年 3 月
- 「J. モルトマンにおけるキリスト論の構造 (I)」『キリスト教研究所紀要』第 12 号, 1994 年 6 月
- 「J. モルトマンにおけるキリスト論の構造 (II)」『キリスト教研究所紀要』第 13 号, 1995 年 6 月
- 「J. モルトマンにおける聖霊論の構造 (I)」『教会と神学』第 27 号, 1995 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける聖霊論の構造 (II)」『教会と神学』第 28 号, 1996 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける創造論の構造 (I)」『キリスト教研究所紀要』第 14 号, 1996 年 7 月
- 「J. モルトマンにおける終末論の構造 (I)」『教会と神学』第 29 号, 1997 年 1 月
- 「J. モルトマンにおける宇宙的終末論の構造」『福音の神学と文化の神学』教文館, 1997 年 12 月
- 「J. モルトマンにおける終末論の構造 (II)」『教会と神学』第 30 号, 1998 年 2 月
- 「J. モルトマンにおける終末論の構造 (III)」『教会と神学』第 31 号, 1999 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける創造論の構造 (II)」『教会と神学』第 32 号, 2000 年 2 月
- 「J. モルトマンにおける創造論の構造 (III)」『教会と神学』第 33 号, 2001 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける神論の構造 (I)」『教会と神学』第 34 号, 2002 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける神論の構造 (II)」『教会と神学』第 36 号, 2003 年 3 月
- 「J. モルトマンにおける神論の構造 (III)」『教会と神学』第 38 号, 2004 年 3 月
- 「基督教教育同盟会編著『聖書教科書』編纂の経緯」『キリスト教学校教育同盟・百年史紀要』第 2 号, 2004 年 6 月
- 「基督教教育同盟会編『聖書教科書』の内容とその特質」『教会と神学』第 40 号, 2005 年 3 月
- 「東北・北海道地区の組織形成と諸活動の歴史 — 戦後初期 (1945 ~ 60) を中心に —」『キリスト教学校教育同盟・百年史紀要』第 3 号, 2005 年 6 月
- 「基督教教育同盟会編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』(1949-50 年) の内容とその特質」『教会と神学』第 47 号, 2008 年 11 月
- 「基督教教育同盟会編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』(1951 年) と基督教教育同盟会編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』(1956-58 年) の内容とその特質」『教会と神学』第 48 号, 2009 年 3 月
- 「基督教学校教育同盟編『キリスト教主義中学校及び高等学校聖書教科書 (1959)』の内容とその特質」『教会と神学』第 49 号, 2009 年 11 月

研究ノート

- 「ゆるしとは何か」『人文学と神学』第7号, 東北学院大学学術研究会, 2014年11月
 「「いじめ問題」の諸相」『人文学と神学』第8号, 2015年3月
 「メルヒェンと宗教教育 (I)」『人文学と神学』第9号, 2015年11月

翻 訳

- ゲオルク・シュトレッカー「山上の説教」『キリスト教研究所紀要』第5号, 1987年3月
 W. パネンベルク「法の神学」『キリスト教社会倫理』(大木・近藤監訳) 聖学院大学出版会, 1992年4月20日
 ステフェン・G・ポスト「アガペーとは何か (1) — ジョナサン・エドワーズ (1703-58) とサミュエル・ホプキンス (1721-1803) の場合 —」『キリスト教文化研究所紀要』第27号, 2009年5月
 ステフェン・G・ポスト「アガペーとは何か (2) — 神の苦しみと愛の理論 —」『キリスト教文化研究所紀要』第28号, 2010年6月
 ステフェン・G・ポスト「アガペーとは何か (3) — 交わりと真の自己愛 —」『キリスト教文化研究所紀要』第29号, 2011年6月
 ステフェン・G・ポスト「アガペーとは何か (4)-(7)」『人文学と神学』第7号, 東北学院大学学術研究会, 2014年11月
 エーバハルト・ユンゲル「神の人間性について (1)」『人文学と神学』第5号, 東北学院大学学術研究会, 2013年11月
 エーバハルト・ユンゲル「神の人間性について (2)」『人文学と神学』第6号 2014年3月
 W. パネンベルク「組織神学」(I-1)『人文学と神学』第9号 2015年11月
 エーバハルト・ユンゲル「キリスト教信仰の中心としての, 神なき者の義認の福音 —— エキュメニズムを目指す神学的研究」(1)『人文学と神学』第10号 2016年3月

書 評

- 「W. パネンベルク著『現代キリスト教の霊性』(西谷幸介訳, 教文館) —— 現代神学の課題を鋭く指摘した教会論と倫理」『本の広場』, 1987年10月
 「近藤勝彦著『歴史の神学の行方』(教文館) —— 日本における神学の新たな可能性」『本の広場』, 1993年7月
 「イレイン・ペイゲルス著『アダムとエバと蛇 —— 「楽園神話」解釈の変遷』(絹川・出村訳, ヨルダン社) —— 「自由とは何か, 性とは何か, 死とは何か」を問う」『福音と世界』, 1993年11月
 「『パウル・ティリッヒ研究』(組織神学研究所編, 聖学院大学出版会) —— 「ティリッヒ」を生き, 「ティリッヒ」を問う人びと」『本の広場』, 1999年10月
 「金子・平山編著『愛に生きた証人たち —— 聖書に学ぶ』(聖学院大学出版会) —— 「愛」を問う人びとへ」『本の広場』, 2009年7月
 「近藤勝彦著『キリスト教倫理学』(教文館) —— 二一世紀の倫理的危機を切り開く『キリスト教倫理学』」『本の広場』, 2010年1月
 「W. パネンベルク著『学問論と神学』(濱崎他訳, 教文館) —— 大学とは何か, その根拠を問う」『本のひろば』, 2014年6月